



タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_総合科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3																																
開講期間																																			
必修選択	選択	単位数	2.0																																
時間割コード	20110590090801	科目番号	05900908																																
授業科目名	●口の健康・体の健康																																		
編集担当教員	吉田 教明																																		
授業担当教員名(科目責任者)	吉田 教明																																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	吉田 教明, 林 善彦, 澤瀬 隆, 山邊 芳久, 筑波 隆幸, 鮎瀬 卓郎, 岡田 幸雄, 細矢 由美子, 飯島 洋一, 佛坂 育祉, 日高 聖, 大場 誠悟, 西村 正宏, 尾崎 幸生																																		
科目分類	総合科学科目、A科目 総合科目																																		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目																																
教室	[全]102																																		
対象学生(クラス等)	全学部																																		
担当教員Eメールアドレス	nori@nagasaki-u.ac.jp																																		
担当教員研究室	歯学部 歯科矯正学講座																																		
担当教員TEL	095-819-7667(7669)																																		
担当教員オフィスアワー	9:00-19:00																																		
授業のねらい	一般の人には歯科＝虫歯という捉え方がなされているが、歯科口腔領域には、様々な疾患があり、その多くが全身の健康維持に影響を及ぼす。授業を通して、一般に知られていない歯科口腔領域の問題について知識を深め、口の健康が体の健康に及ぼす影響を理解する。																																		
授業方法(学習指導法)	必要に応じ、授業に沿ったプリント資料を配布する。参考書は適宜紹介する。																																		
授業到達目標	口腔は、呼吸、摂食、咀嚼、発音、感覚、美的表現など多様な機能を有している。これらの機能の喪失による全身への影響について知識を深め、機能の維持や再建または改善する方法を広く理解すること。																																		
授業内容	<p>(概要) 歯科では歯のみならず、さまざまな口腔の器官を扱う。さらに、これらの器官は全身に影響を与える。ここでは、このような観点から、実際の歯およびその他の器官の機能や、最新の治療について学ぶ。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>味覚の発達と健康 4/12 生理 岡田幸雄</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>矯正歯科治療と形態的变化 4/19 矯正 佛坂育祉</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>歯の脱灰と再石灰化 4/26 予防 飯島洋一</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>インプラントによる歯の再建 5/10 1補綴 澤瀬 隆</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>健常者の口腔管理と健康 5/17 1保存 林 善彦</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>歯の色彩・白い歯 5/24 小児 細矢由美子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>最新の審美歯科治療 6/7 矯正 吉田教明</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>口腔領域における痛みのコントロール 6/14 麻酔 鮎瀬卓郎</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>顎関節障害・咀嚼障害 6/21 歯学臨床教育 山邊芳久</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>歯周病と生活習慣病 6/28 2保存 尾崎幸生</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>小児の成長発育と歯科治療 7/5 小児 日高 聖</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>障害者/有病者の口腔ケアと問題点 7/12 小児 細矢由美子</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>口腔内疾患と薬物治療 7/19 薬理 筑波隆幸</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>口腔癌:口の中にできる悪性腫瘍 7/26 2口外 大場誠悟</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>再生医療 8/2 2補綴 西村正宏</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	味覚の発達と健康 4/12 生理 岡田幸雄	2	矯正歯科治療と形態的变化 4/19 矯正 佛坂育祉	3	歯の脱灰と再石灰化 4/26 予防 飯島洋一	4	インプラントによる歯の再建 5/10 1補綴 澤瀬 隆	5	健常者の口腔管理と健康 5/17 1保存 林 善彦	6	歯の色彩・白い歯 5/24 小児 細矢由美子	7	最新の審美歯科治療 6/7 矯正 吉田教明	8	口腔領域における痛みのコントロール 6/14 麻酔 鮎瀬卓郎	9	顎関節障害・咀嚼障害 6/21 歯学臨床教育 山邊芳久	10	歯周病と生活習慣病 6/28 2保存 尾崎幸生	11	小児の成長発育と歯科治療 7/5 小児 日高 聖	12	障害者/有病者の口腔ケアと問題点 7/12 小児 細矢由美子	13	口腔内疾患と薬物治療 7/19 薬理 筑波隆幸	14	口腔癌:口の中にできる悪性腫瘍 7/26 2口外 大場誠悟	15	再生医療 8/2 2補綴 西村正宏
回	内容																																		
1	味覚の発達と健康 4/12 生理 岡田幸雄																																		
2	矯正歯科治療と形態的变化 4/19 矯正 佛坂育祉																																		
3	歯の脱灰と再石灰化 4/26 予防 飯島洋一																																		
4	インプラントによる歯の再建 5/10 1補綴 澤瀬 隆																																		
5	健常者の口腔管理と健康 5/17 1保存 林 善彦																																		
6	歯の色彩・白い歯 5/24 小児 細矢由美子																																		
7	最新の審美歯科治療 6/7 矯正 吉田教明																																		
8	口腔領域における痛みのコントロール 6/14 麻酔 鮎瀬卓郎																																		
9	顎関節障害・咀嚼障害 6/21 歯学臨床教育 山邊芳久																																		
10	歯周病と生活習慣病 6/28 2保存 尾崎幸生																																		
11	小児の成長発育と歯科治療 7/5 小児 日高 聖																																		
12	障害者/有病者の口腔ケアと問題点 7/12 小児 細矢由美子																																		
13	口腔内疾患と薬物治療 7/19 薬理 筑波隆幸																																		
14	口腔癌:口の中にできる悪性腫瘍 7/26 2口外 大場誠悟																																		
15	再生医療 8/2 2補綴 西村正宏																																		

	16
キーワード	歯、顎関節、インプラント、審美歯科治療、咀嚼、摂食、嚥下
教科書・教材・参考書	教科書はなく、教材は担当教員の判断で配布を行う。また、授業にて適宜、参考書などを紹介する。
成績評価の方法・基準等	レポート100点。レポートは毎回提出する。レポートの評価の基準は、与えられたテーマについて、適切なキーワードを用い説明できているかを判断基準とする。
受講要件(履修条件)	なし
本科目の位置づけ	歯科医療領域は進化を遂げ、全身への影響を見据えたものに発展している分野である。
学習・教育目標	口腔領域の疾患を理解し、全身の健康に及ぼす影響を学習する。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	各授業の内容やプリントなどを復習する。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_総合科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20110590090501	科目番号	05900905
授業科目名	●平和講座		
編集担当教員	安部 俊二		
授業担当教員名(科目責任者)	安部 俊二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	安部 俊二, 戸田 清, 篠崎 正人, 関口 達夫, 藤澤 秀雄, 舟越 耿一, 池田 早苗, 山崎 年子		
科目分類	総合科学科目、A科目 総合科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[全]124		
対象学生(クラス等)	全学部		
担当教員Eメールアドレス	abe-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部本館6階617研究室		
担当教員TEL	(095)819-2309		
担当教員オフィスパワー	水曜6校時		
授業のねらい	この文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身勤労令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、その多くが爆死しました。敗戦後、日本は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚し、国家再建の基礎を人類普遍の原理に求めて戦争を放棄し、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して安全と生存を保持しよう」と決意しました。本講座は、その決意を引き継ぎ、平和を愛し探求心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく基礎的資料と基本的な分析論理を提供しようというものである。		
授業方法(学習指導法)	各講義目ごとに、担当講師が講義に必要な資料プリントを準備し、講義を行う。講師によってはDVD・ビデオなどを利用する。		
授業到達目標	戦争の実態についての認識を深め、世界的情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して自由と平和を愛する文化国家の建設に努める態度を身につける。		
授業内容	講義内容は多岐にわたるので、各担当講師が以下のようにテーマを掲げて講義する。 第1回(4月6日)戸田 清「長崎で平和学する」 第2回(4月13日)藤澤秀雄「自伝的昭和史①:小学生から見た日本の戦争」 第3回(4月20日)藤澤秀雄「自伝的昭和史②:戦争とは、戦場とは、そこで何が行われたか」 第4回(4月27日)安部俊二「100年遅れのアヘン戦争としての15年戦争①」 第5回(5月11日)安部俊二「100年遅れのアヘン戦争としての15年戦争②」 第6回(5月18日)池田早苗「私の被爆・被爆後体験」 第7回(5月25日)山崎年子「二重被爆の父と生きる」 第8回(6月1日)戸田 清「核兵器と劣化ウラン兵器」 第9回(6月8日)戸田 清「ベトナム枯葉作戦、直接的暴力、構造的暴力、文化的暴力」 第10回(6月15日)関口達夫NBC記者「長崎原爆を報道する」 第11回(6月22日)戸田 清「イラク戦争・アフガン戦争」 第12回(6月29日)舟越耿一「報復の連鎖を断つ言葉を求めて」 第13回(7月6日)舟越耿一「どこからどこへ、日本の平和主義」 第14回(7月13日)篠崎正人「有事体制と長崎・佐世保①」 第15回(7月20日)篠崎正人「有事体制と長崎・佐世保②」		
キーワード	昭和史、戦争、15年戦争、アヘン、原爆、劣化ウラン、イラク戦争、アフガン戦争、有事体制、構造的暴力		
教科書・教材・参考書	特定の教科書は用いないが、プリント資料を適宜配布し、またスライド・DVD/ビデオなどを利用して、講義の理解を深めるのに役立つ。		

成績評価の方法・基準等	出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極さと担当講師が課したレポートの成績を総合的に評価する。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_総合科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木1																								
開講期間																											
必修選択	選択	単位数	2.0																								
時間割コード	20110569001201	科目番号	05690012																								
授業科目名	●防災科学																										
編集担当教員	蔣 宇静																										
授業担当教員名(科目責任者)	蔣 宇静																										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	蔣 宇静, 近藤 寛, 棚橋 由彦, 岡林 隆敏, 夢田 彰秀, 中村 聖三, 西田 渉, 馬越 孝道, 坂本 麻衣子, 奥松 俊博, 杉本 知史, 鈴木 誠二, 李 博																										
科目分類	総合科学科目																										
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目																								
教室	[全]102																										
対象学生(クラス等)	全学年																										
担当教員Eメールアドレス	jiang@nagasaki-u.ac.jp																										
担当教員研究室	工学部1号館3階																										
担当教員TEL	095-819-2612																										
担当教員オフィスアワー	講義日の16:10-17:40																										
授業のねらい	日本国内では毎年のように暴風、豪雨、豪雪、高潮、地震、津波、噴火等の自然災害が発生し、人々の生命や生活を脅かしている。本科目では、自然災害に関する発生メカニズムの概論および防災・減災対策について、防災施設の整備や情報伝達・警戒避難対策の両面から教授する。これらによって、自然災害に対する知識と災害による被害を軽減するための対処法を習得することを目的とする。福岡県西方沖地震、雲仙普賢岳の噴火災害等の身近な話題を用いて、わかりやすく説明する。																										
授業方法(学習指導法)	オムニバス方式で、各専門領域の内容を講義する。講義に当たっては、自然災害の実態や防災対策を映像や図表を用いてわかりやすく説明する。																										
授業到達目標	地震、火山災害などの自然災害の発生の仕組みや被害の内容や自然災害への防災・減災対策を説明できる。また、災害が発生したときに備えた日頃の備えの内容を習得できる。																										
授業内容	<p>[概論]: [概論]: 自然災害の内容・その特徴、日本の災害対策の体系の内容を説明する。(第1回) [自然災害を知る]: 代表的な自然災害の発生の仕組み、被害の様子を説明する。(第2回～第8回) [自然災害を防ぐ]: 自然災害による被害を防ぎ、被害を小さくするための対策や個人や地域の備えを説明する。(第9回～第15回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4月14日 自然災害の特徴と防災対策の課題 蔣教授</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4月21日 地震災害 岡林教授</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4月28日 火山災害 馬越准教授</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5月12日 地盤災害 李助教</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5月19日 地盤の液状化 杉本助教</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5月26日 台風災害 奥松准教授</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6月2日 高潮・津波災害 夢田教授</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6月9日 地質・地形と災害 近藤教授</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6月16日 地震災害対策 中村教授</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6月23日 地盤災害対策 棚橋教授</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6月30日 河川災害対策 鈴木助教</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	4月14日 自然災害の特徴と防災対策の課題 蔣教授	2	4月21日 地震災害 岡林教授	3	4月28日 火山災害 馬越准教授	4	5月12日 地盤災害 李助教	5	5月19日 地盤の液状化 杉本助教	6	5月26日 台風災害 奥松准教授	7	6月2日 高潮・津波災害 夢田教授	8	6月9日 地質・地形と災害 近藤教授	9	6月16日 地震災害対策 中村教授	10	6月23日 地盤災害対策 棚橋教授	11	6月30日 河川災害対策 鈴木助教
回	内容																										
1	4月14日 自然災害の特徴と防災対策の課題 蔣教授																										
2	4月21日 地震災害 岡林教授																										
3	4月28日 火山災害 馬越准教授																										
4	5月12日 地盤災害 李助教																										
5	5月19日 地盤の液状化 杉本助教																										
6	5月26日 台風災害 奥松准教授																										
7	6月2日 高潮・津波災害 夢田教授																										
8	6月9日 地質・地形と災害 近藤教授																										
9	6月16日 地震災害対策 中村教授																										
10	6月23日 地盤災害対策 棚橋教授																										
11	6月30日 河川災害対策 鈴木助教																										

	12	7月 7日 風災害対策 西川助教
	13	7月14日 水防災システムの構築 西田准教授
	14	7月21日 リスクコミュニケーション 坂本准教授
	15	7月28日 防災の計画と管理 蔣教授
	16	
キーワード	自然災害、災害科学、防災工学	
教科書・教材・参考書	教科書は用いず、授業計画に沿ったプリント資料を配布する。 参考書・参考文献は講義中に適宜紹介する。	
成績評価の方法・基準等	毎回の小レポート(授業の概要と講義中の課題の取りまとめ、授業内容に対して自身の考えをまとめるコメント)を毎回10点満点で採点する。15回の平均点を10倍して成績を評価する。小レポートの提出がない場合はレポートの点が0点とする。	
受講要件(履修条件)	なし	
本科目の位置づけ	地域、職場、家庭に必要な安全・安心の知識を身につけることができる共通の強化である。	
学習・教育目標	全学部共通の安全・安心にかかわる基本的な知識と対応策を学習できる科目である。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	最近発生した自然災害や長崎の過去の災害について、インターネット、図書館等で調べておくと理解しやすい。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_総合科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20110569001901	科目番号	05690019
授業科目名	●フランス学		
編集担当教員	大橋 絵理		
授業担当教員名(科目責任者)	大橋 絵理		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大橋 絵理, 正本 忍		
科目分類	総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[全]205		
対象学生(クラス等)	全学部		
担当教員Eメールアドレス	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部1階(123-2)		
担当教員TEL	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー	火曜日 12:00-12:50 水曜日 12:00-12:50 木曜日 10:30-12:00		
授業のねらい	中世から現代に至るまでヨーロッパそして世界の政治や文化をリードし続けるフランスについて、基礎的かつより包括的な知識を得ることが本講義のねらいである。		
授業方法(学習指導法)	フランスを研究対象とする2名の教員によるオムニバス形式で行う。		
授業到達目標	フランスの政治、経済、社会、文化、言語、歴史、伝統、地理などについて、ニュースや新聞に取り上げられる話題に抵抗なく入っていける程度の知識を得ることを目標とする。		
	試験は筆記試験となります。		
	回	内容	
	1	「4月7日」 フランスってどんな国?(正本)	
	2	「4月14日」 19世紀のフランス(大橋)	
	3	「4月21日」 『ボヴァリー夫人』を映画とともに読む(1)(大橋)	
	4	「4月28日」 『ボヴァリー夫人』を映画とともに読む(2)(大橋)	
	5	「5月12日」 ペタンクをしよう(正本、大橋) *雨天順延	
	6	「5月19日」 ペタンクをしよう(正本、大橋) *雨天順延	
		「5月26日」	

授業内容	7	パリの歴史を歩く(1)(正本)
	8	「6月2日」 パリの歴史を歩く(2)(正本)
	9	「6月9日」 ワインの愉しみ(正本)
	10	「6月16日」 フランス映画の愉しみ(映画鑑賞)(正本、大橋)
	11	「6月23日」 フランスの文化と社会についてのPBL(問題発見解決型学習)(1)(大橋) グループで与えられたテキストを読んで、フランスについて疑問に思ったこと、調査してみたいことを考える。
	12	「6月30日」 フランスの文化と社会についてのPBL(2)(大橋) グループで資料(図書、記事、インターネット)で調査し、簡単なスライドを作成する。
	13	「7月7日」 フランスの文化と社会についてのPBL(3)(大橋) スライド発表会で、グループ内の意見をまとめ、お互いに質疑応答する。
	14	「7月14日」 フランス観光案内(1)(正本)
	15	「7月21日」 フランス観光案内(2)(正本)
	16	「7月28日」 定期試験
キーワード	フランス、言語、文学、文化、歴史、ライシテ、政治、経済	
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。参考文献(福井憲彦編『フランス史』山川出版社、2001年、フローベール『ボヴァリー夫人』など)は講義中に紹介する。	
成績評価の方法・基準等	(1)PBLの発表会 (2)歴史に関する簡単な試験。	
受講要件(履修条件)	フランスの言語、社会、文化などに関心を持っていることが望まれる。	
本科目の位置づけ	関係する専門科目:フランス語、歴史と社会	
学習・教育目標	異文化に興味を持って理解する。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	意見や疑問に思ったことは、授業中でも授業が終わった後でも、積極的に質問して下さい。	





タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_総合科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木2																								
開講期間																											
必修選択	選択	単位数	2.0																								
時間割コード	20110590090901	科目番号	05900909																								
授業科目名	●火山と災害																										
編集担当教員	馬越 孝道																										
授業担当教員名(科目責任者)	馬越 孝道																										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	馬越 孝道, 小原 達朗, 深見 聡, 松岡 数充, 高山 久明, 後藤 健介, 高橋 和雄																										
科目分類	総合科学科目、A科目 総合科目																										
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目																								
教室	[全]430																										
対象学生(クラス等)	全学部																										
担当教員Eメールアドレス	umakoshi@nagasaki-u.ac.jp																										
担当教員研究室	環境科学部本館2階																										
担当教員TEL	095-819-2766																										
担当教員オフィスアワー	木曜15:00-1700																										
授業のねらい	日本は災害の国である。また長崎県は災害の多い県のひとつである。とくに雲仙普賢岳の火山災害は、これに伴う二次災害、復興対策などさまざまな災害の代表でもあり、学生たちがこれらの災害への取り組みを理解することは、これからの日本を担っていく上で必要な知識の一つである。																										
授業方法(学習指導法)	担当教員がそれぞれ1~3回の講義を担当する。テキスト、配布資料を参考として、パワーポイントやビデオの視聴覚機器を駆使し行っていく。																										
授業到達目標	火山の定義・実際、および火山災害の種類と内容の理解を基礎として、雲仙火山災害をケーススタディに、火山災害の特徴、人間や生物・自然環境への影響、火山災害への対策と復興などを取り上げ、それぞれの理解を深める。																										
授業内容	<p>火山とは何かの定義から始め、世界と日本の火山の実際を知った後、火山災害の種類と内容を学ぶ。これらを基礎知識として、ケーススタディとして、長崎県の災害史上最大規模の自然災害の一つとなった、雲仙火山災害を取り上げる。この火山災害が、水産業や生物、火山植生、子供たちへどのような影響を与えたかを学び、火山災害からどのようにして復旧したか、また復興がなされたかを知る。火山には、これらの陰の面としての災害の一方に、温泉・景観などの光の面も持つことから、火山の活用についても触れる。これら授業の間に、九州各地および南西諸島の火山や、地球温暖化とも関係する、火山諸島ガラパゴスのなりたちや生物進化、生物の生息状況などを話題提供として授業する。なお、授業の順番は入れ替わる場合がある。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7 オリエンテーション、火山とは(馬越)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14 桜島・霧島(新燃岳等)の噴火史(深見)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21 1990-1995年雲仙普賢岳噴火(馬越)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28 子供たちへの影響(その1)(小原)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12 子供たちへの影響(その2)(小原)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19 水産業への影響(その1)(高山)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/26 火山諸島ガラパゴス(松岡)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/2 水産業への影響(その2)(高山)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/9 島原大変肥後迷惑(後藤)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/16 植生の回復(後藤)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6/23 火山災害と観光振興(深見)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	4/7 オリエンテーション、火山とは(馬越)	2	4/14 桜島・霧島(新燃岳等)の噴火史(深見)	3	4/21 1990-1995年雲仙普賢岳噴火(馬越)	4	4/28 子供たちへの影響(その1)(小原)	5	5/12 子供たちへの影響(その2)(小原)	6	5/19 水産業への影響(その1)(高山)	7	5/26 火山諸島ガラパゴス(松岡)	8	6/2 水産業への影響(その2)(高山)	9	6/9 島原大変肥後迷惑(後藤)	10	6/16 植生の回復(後藤)	11	6/23 火山災害と観光振興(深見)
回	内容																										
1	4/7 オリエンテーション、火山とは(馬越)																										
2	4/14 桜島・霧島(新燃岳等)の噴火史(深見)																										
3	4/21 1990-1995年雲仙普賢岳噴火(馬越)																										
4	4/28 子供たちへの影響(その1)(小原)																										
5	5/12 子供たちへの影響(その2)(小原)																										
6	5/19 水産業への影響(その1)(高山)																										
7	5/26 火山諸島ガラパゴス(松岡)																										
8	6/2 水産業への影響(その2)(高山)																										
9	6/9 島原大変肥後迷惑(後藤)																										
10	6/16 植生の回復(後藤)																										
11	6/23 火山災害と観光振興(深見)																										

	12	6/30 南西諸島の火山・薩摩硫黄島(深見)
	13	7/7 火山災害からの復旧・復興(高橋)
	14	7/14 火山工学の紹介(高橋)
	15	7/21 火山観測と予知(馬越)
	16	
キーワード	火山、火山災害、雲仙火山災害、生物・植生、水産業、子供・健康、復旧・復興、観光	
教科書・教材・参考書	参考書 長崎大学「火山と災害」教育研究グループ編著:「火山―雲仙普賢岳がもたらしたもの―」長崎出島文庫(全国図書館協会優良図書) 長崎新聞社・後藤恵之輔:「復興の「教訓」―「普賢岳」からよみがえった10年」小学館 土木学会:火山工学入門	
成績評価の方法・基準等	毎回提出のレポートによって成績評価をおこなう。レポート用紙は毎回授業中に配布する。レポートには、講義の概要とコメントを書くが、時には指示により、講義概要の代わりに宿題が出されることがある。	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		





タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_総合科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木5																								
開講期間																											
必修選択	選択	単位数	2.0																								
時間割コード	20110590090601	科目番号	05900906																								
授業科目名	●キャリア概論																										
編集担当教員	橋本 健夫																										
授業担当教員名(科目責任者)	橋本 健夫																										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	橋本 健夫、倉橋 和弘、近藤 信彦、法師山 克昌、小嶋 紀博、土山 勇、浜 民夫、扇 道徳、長岡 賢一、小川 洋、荘野 尚志、安永 憲一																										
科目分類	総合科学科目																										
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目																								
教室	[全]201																										
対象学生(クラス等)	全学部																										
担当教員Eメールアドレス	hasimoto@nagasaki-u.ac.jp																										
担当教員研究室	教育学部 5F																										
担当教員TEL	095-819-2338																										
担当教員オフィスアワー																											
授業のねらい	理論と実際が異なるのと同じように、大学の専門課程で学んだことが直ちに実業社会で役立つものではないが、仕事の真相、そこで働く人々のことを実践的に学んでもらい、進むべき道を考えてもらうことを目的とします。																										
授業方法(学習指導法)	この授業は三部構成になっています。様々な分野で活躍している産業人、官庁、NPO等の社会人から、①まず、所属する業界の概要についての講義を受け、②次いで、現在、勤めている企業、官庁などで行われている多様な事業や仕事、職場の業務や仕事の種類についての講義を受け、③最後に講師の職業経歴・キャリアについての講義を受けます。																										
授業到達目標	学園生活から社会に軟着陸するために必要な、職業や仕事のことなどの、社会人としての基礎について学ぶ。我が国における仕事の進め方は、チームで行う集団活動であることについても学ぶ。																										
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7(基礎1)学ぶことの意義、働くことの意義そして自立に向けて～ニート・フリーター研究1～【浜 民夫/若者自立支援長崎ネットワーク代表・元長崎大学教授】</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14(基礎2)国際化、規制緩和、産業構造の変化そして働くことの形～ニート・フリーター研究2～【浜 民夫】</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/21(製造業、金属加工業)九州スチールセンターと造船業の現状及び大学生へのアドバイス【法師山克昌/(株)九州スチールセンター代表取締役社長】</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/28(総合人材サービス業、就職支援)毎日コミュニケーションが行っている事業と仕事を理解する～企業・業種・職種研究～【土山 勇/(株)毎日コミュニケーションズ 西日本キャリアサポート統括 兼大阪支社就職情報事業本部企画広報部】</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/12(金融業)中央銀行の業務内容と地域経済に果たす役割について【近藤信彦/日本銀行長崎支店長】</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/19(基礎3)仕事と職業と産業と社会への架け橋インターンシップ【浜 民夫】</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/26(金融業)地方銀行の現状及び業務内容等について【小川 洋/(株)十八銀行取締役常務執行役】</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/2(中小企業)中小企業の現状と魅力【安永憲一/長崎県中小企業団体中央会専務理事】</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/9(建設コンサルタント業、IT事業)地元企業の課題 ～扇精光の企業文化とブランドの確立、今、学校教育に求める学生像～【扇 道徳/扇精光(株)取締役会長】</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/16(電力業)九州電力の事業と多様な仕事と職務について【荘野尚志/九州電力長崎支店長】</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6/23 広告サービス業就職支援(日経就職ナビ) ディスコ(日経就職ナビ)が行っている事業と経済新聞の読み方 小嶋紀博/(株)ディスコ西部支社課長代理</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	4/7(基礎1)学ぶことの意義、働くことの意義そして自立に向けて～ニート・フリーター研究1～【浜 民夫/若者自立支援長崎ネットワーク代表・元長崎大学教授】	2	4/14(基礎2)国際化、規制緩和、産業構造の変化そして働くことの形～ニート・フリーター研究2～【浜 民夫】	3	4/21(製造業、金属加工業)九州スチールセンターと造船業の現状及び大学生へのアドバイス【法師山克昌/(株)九州スチールセンター代表取締役社長】	4	4/28(総合人材サービス業、就職支援)毎日コミュニケーションが行っている事業と仕事を理解する～企業・業種・職種研究～【土山 勇/(株)毎日コミュニケーションズ 西日本キャリアサポート統括 兼大阪支社就職情報事業本部企画広報部】	5	5/12(金融業)中央銀行の業務内容と地域経済に果たす役割について【近藤信彦/日本銀行長崎支店長】	6	5/19(基礎3)仕事と職業と産業と社会への架け橋インターンシップ【浜 民夫】	7	5/26(金融業)地方銀行の現状及び業務内容等について【小川 洋/(株)十八銀行取締役常務執行役】	8	6/2(中小企業)中小企業の現状と魅力【安永憲一/長崎県中小企業団体中央会専務理事】	9	6/9(建設コンサルタント業、IT事業)地元企業の課題 ～扇精光の企業文化とブランドの確立、今、学校教育に求める学生像～【扇 道徳/扇精光(株)取締役会長】	10	6/16(電力業)九州電力の事業と多様な仕事と職務について【荘野尚志/九州電力長崎支店長】	11	6/23 広告サービス業就職支援(日経就職ナビ) ディスコ(日経就職ナビ)が行っている事業と経済新聞の読み方 小嶋紀博/(株)ディスコ西部支社課長代理
回	内容																										
1	4/7(基礎1)学ぶことの意義、働くことの意義そして自立に向けて～ニート・フリーター研究1～【浜 民夫/若者自立支援長崎ネットワーク代表・元長崎大学教授】																										
2	4/14(基礎2)国際化、規制緩和、産業構造の変化そして働くことの形～ニート・フリーター研究2～【浜 民夫】																										
3	4/21(製造業、金属加工業)九州スチールセンターと造船業の現状及び大学生へのアドバイス【法師山克昌/(株)九州スチールセンター代表取締役社長】																										
4	4/28(総合人材サービス業、就職支援)毎日コミュニケーションが行っている事業と仕事を理解する～企業・業種・職種研究～【土山 勇/(株)毎日コミュニケーションズ 西日本キャリアサポート統括 兼大阪支社就職情報事業本部企画広報部】																										
5	5/12(金融業)中央銀行の業務内容と地域経済に果たす役割について【近藤信彦/日本銀行長崎支店長】																										
6	5/19(基礎3)仕事と職業と産業と社会への架け橋インターンシップ【浜 民夫】																										
7	5/26(金融業)地方銀行の現状及び業務内容等について【小川 洋/(株)十八銀行取締役常務執行役】																										
8	6/2(中小企業)中小企業の現状と魅力【安永憲一/長崎県中小企業団体中央会専務理事】																										
9	6/9(建設コンサルタント業、IT事業)地元企業の課題 ～扇精光の企業文化とブランドの確立、今、学校教育に求める学生像～【扇 道徳/扇精光(株)取締役会長】																										
10	6/16(電力業)九州電力の事業と多様な仕事と職務について【荘野尚志/九州電力長崎支店長】																										
11	6/23 広告サービス業就職支援(日経就職ナビ) ディスコ(日経就職ナビ)が行っている事業と経済新聞の読み方 小嶋紀博/(株)ディスコ西部支社課長代理																										

	12	6/30(証券業)コーポレート・ファイナンスの実務について【倉橋和弘／野村証券株企業プロジェクト室次長】
	13	7/7(サービス業、就職支援)インターネット時代の広告・情報ビジネスの現状と就職支援～リクルートが行っている事業の成り立ちと将来形【長岡賢一／チームリーダーリクナビエリアプロジェクター HRカンパニー営業統括部】
	14	7/14(基礎4)私たちの働く場の労働環境と労働法～格差社会と社会的事業【浜 民夫】
	15	7/21(まとめ)進路選択にあたって～体験談を交えて ・就職・大学院進学・その他【浜 民夫】
	16	
キーワード	職業、仕事、進路、社会人基礎、自主自立	
教科書・教材・参考書	授業計画に沿ってパワーポイント、OHP、ビデオを使用し、プリント、資料を配付する。参考書は紹介する。	
成績評価の方法・基準等	成績評価は全15回の課題レポートの平均点を考慮して評価する。	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_総合科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金4																																
開講期間																																			
必修選択	選択	単位数	2.0																																
時間割コード	20110569000701	科目番号	05690007																																
授業科目名	●解放講座																																		
編集担当教員	上 菌 恒太郎																																		
授業担当教員名(科目責任者)	上 菌 恒太郎																																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	上 菌 恒太郎、阿南 重幸、藤澤 秀雄																																		
科目分類	総合科学科目、A科目 総合科目																																		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目																																
教室	[全]205																																		
対象学生(クラス等)	全学部																																		
担当教員Eメールアドレス	阿南重幸anan@sings.jp																																		
担当教員研究室	教育学部棟2階上菌 恒太郎研究室																																		
担当教員TEL	上菌教員095-819-2386																																		
担当教員オフィスアワー	授業の前後																																		
授業のねらい	21世紀は「人権の世紀」ともいわれる。本講座は、部落問題を中心に今日社会におけるさまざまな諸問題を、人権の視点で考察することを目的とする。																																		
授業方法(学習指導法)	講義形式																																		
授業到達目標	講座開設の意義を踏まえ、世界の人権状況、国内においては、部落問題・アイヌ問題・ハンセン病回復者への差別・在日外国人の諸状況を歴史的に考察し、理解を深める。																																		
授業内容	<p>人権に関する世界及び日本の歩みを振り返り、今なお存在する日本の人権課題について、学ぶことを目的とする。人権の観点から見た部落問題、アイヌ問題、在日外国人問題、ハンセン病に係わる問題や冤罪事件等を取り上げ、とくに部落問題ではあやまった歴史観を質したい。また、地域史として、「長崎の被差別部落」を取り上げる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4月 8日「解放講座」開設の意義について(藤澤秀雄)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4月15日世界及び国内における人権の歩み(藤澤秀雄)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4月22日部落問題と人権のいま(阿南重幸)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5月 6日日本の部落問題(阿南重幸)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5月13日日本の近代化とアイヌ問題(阿南重幸)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5月20日在日外国人の「国籍条項」(阿南重幸)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5月27日ハンセン病と差別(阿南重幸)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6月 3日部落の歴史を再考する(1)(阿南重幸)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6月10日部落の歴史を再考する(2)(阿南重幸)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6月17日部落の歴史を再考する(3)(阿南重幸)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6月24日長崎の被差別部落(阿南重幸)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>7月 1日変化する「部落」観(阿南重幸)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>7月 8日冤罪について、二・三の具体的事例を中心として(藤澤秀雄)</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>7月15日冤罪について、二・三の具体的事例を中心として(藤澤秀雄)</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>7月22日授業の総括(学生諸君に書いてもらう)(藤澤秀雄)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	4月 8日「解放講座」開設の意義について(藤澤秀雄)	2	4月15日世界及び国内における人権の歩み(藤澤秀雄)	3	4月22日部落問題と人権のいま(阿南重幸)	4	5月 6日日本の部落問題(阿南重幸)	5	5月13日日本の近代化とアイヌ問題(阿南重幸)	6	5月20日在日外国人の「国籍条項」(阿南重幸)	7	5月27日ハンセン病と差別(阿南重幸)	8	6月 3日部落の歴史を再考する(1)(阿南重幸)	9	6月10日部落の歴史を再考する(2)(阿南重幸)	10	6月17日部落の歴史を再考する(3)(阿南重幸)	11	6月24日長崎の被差別部落(阿南重幸)	12	7月 1日変化する「部落」観(阿南重幸)	13	7月 8日冤罪について、二・三の具体的事例を中心として(藤澤秀雄)	14	7月15日冤罪について、二・三の具体的事例を中心として(藤澤秀雄)	15	7月22日授業の総括(学生諸君に書いてもらう)(藤澤秀雄)
回	内容																																		
1	4月 8日「解放講座」開設の意義について(藤澤秀雄)																																		
2	4月15日世界及び国内における人権の歩み(藤澤秀雄)																																		
3	4月22日部落問題と人権のいま(阿南重幸)																																		
4	5月 6日日本の部落問題(阿南重幸)																																		
5	5月13日日本の近代化とアイヌ問題(阿南重幸)																																		
6	5月20日在日外国人の「国籍条項」(阿南重幸)																																		
7	5月27日ハンセン病と差別(阿南重幸)																																		
8	6月 3日部落の歴史を再考する(1)(阿南重幸)																																		
9	6月10日部落の歴史を再考する(2)(阿南重幸)																																		
10	6月17日部落の歴史を再考する(3)(阿南重幸)																																		
11	6月24日長崎の被差別部落(阿南重幸)																																		
12	7月 1日変化する「部落」観(阿南重幸)																																		
13	7月 8日冤罪について、二・三の具体的事例を中心として(藤澤秀雄)																																		
14	7月15日冤罪について、二・三の具体的事例を中心として(藤澤秀雄)																																		
15	7月22日授業の総括(学生諸君に書いてもらう)(藤澤秀雄)																																		

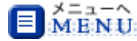
	16
キーワード	人権 体験 知識
教科書・教材・参考書	テキストは用いない。プリント、資料等を配布する。 ビデオ等を使用する。
成績評価の方法・基準等	レポートの成績、出席状況を考慮して行う。 レポート 50 出席 50
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#) 松尾 成則 『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1780秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_総合科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	後期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20110590090602	科目番号	05900906
授業科目名	●キャリア概論		
編集担当教員	橋本 健夫		
授業担当教員名(科目責任者)	橋本 健夫		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	橋本 健夫, 小嶋 紀博, 土山 勇, 黒田 正彦, 浜 民夫, 長岡 賢一		
科目分類	総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[全]201		
対象学生(クラス等)	全学部		
担当教員Eメールアドレス	hasimoto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部 5F		
担当教員TEL	095-819-2338		
担当教員オフィスマワー			
授業のねらい	皆それぞれによって、「自分は大学で何を学び何を研究し、将来それをどう活かすか」を思考し、自己実現、自己完成に向けての切掛となるヒントを得ることを目的とする。		
授業方法(学習指導法)	この授業では、最前線で活躍している官庁人や産業人やNPOそして就職支援企業の講師が、経験、体験等に基づき、企業や官庁、仕事や職業を取り巻く、業界事情や経済環境そして労働法制やその考え方についての講義を行う。		
授業到達目標	皆さんはやがて職業を持ち、社会的にも経済的にも自立して、職業生涯を送ることになる。学園生活から社会に軟着陸するために必要な、職業や仕事のことなどの、社会人としての基礎について学ぶ。		
授業内容	*1: 若者自立支援長崎ネットワーク代表・元長崎大学環境科学部教授 *2: ㈱リクナビエリアプロデューサーHRカンパニー営業統括部 *3: 長崎労働局局長 *4: 教育・雇用事情研究所 *5: ㈱毎日コミュニケーションズ西日本キャリアサポート統括兼大阪支社就職情報事業本部企画広報部		
	回	内容	
	1	10/3 仕事とは、何故就職するのか、仕事に就くことの意義～ニート・フリーター研究～【浜 民夫*1】	
	2	10/17 企業が求める人材【長岡賢一 *2】	
	3	10/24 「働く」とは何か～公務の仕事から考える【黒田正彦*3】	
	4	10/31 企業と職業【小嶋紀博*4】	
	5	11/7 国際化・規制緩和時代に企業や組織をどう判断するか、視野を広げる方法【土山 勇*5】	
	6	11/14 労働法制～労働者は法によりどのように護られているか【黒田正彦】	
	7	11/28 仕事や職業や産業のことを知ろう～社会への架け橋インターンシップで見てみよう～【浜 民夫】	
	8	12/5 全般を振り返っての意見交換会【浜・長岡 小嶋・土山】	
	9	12/12 自分に合った企業や職業の選択基準【長岡賢一】	
	10	12/19 地方の時代を迎え～地元産業・地元企業の研究【小嶋紀博】	
	11	12/26 自己分析(求職活動スケジュール全体から知る、早期の自己理解の重要性)【土山 勇】	
	12	1/16 産業情報、企業情報の研究方法【長岡賢一】	
13	1/23 多様化する採用方法、大卒の採用状況と今後の計画【小嶋紀博】		

	14	1/30 自己表現(今後様々な場面で求められる自己アピール・様々な立場の人から学ぶ)【土山 勇】
	15	2/6 まとめ【浜 民夫】
	16	
キーワード	職業、仕事、進路、社会人基礎、自主自立	
教科書・教材・参考書	授業計画に沿ってパワーポイント、OHP、ビデオを使用し、プリント、資料を配付する。参考書は紹介する。	
成績評価の方法・基準等	成績評価は全15回の課題レポートの平均点を考慮して評価する。	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_総合科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20110590090502	科目番号	05900905
授業科目名	●平和講座		
編集担当教員	安部 俊二		
授業担当教員名(科目責任者)	安部 俊二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	安部 俊二, 戸田 清, 富塚 明, 森井 徹, 藤澤 秀雄, 小峯 秀孝, 舟越 耿一, 高橋 眞司, 国武 雅子, 山田 拓民		
科目分類	総合科学科目、A科目 総合科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[全]102		
対象学生(クラス等)	全学部		
担当教員Eメールアドレス	abe-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部本館6階617研究室		
担当教員TEL	(095)819-2309		
担当教員オフィスマワー	水曜6校時		
授業のねらい	この文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子勤労令などによって動員された若き男女が航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、その多くが爆死しました。敗戦後、日本は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚し、国家再建の基礎を人類普遍の原理に求めて戦争を放棄し、平和を愛する諸国民の公正と信義を信頼して安全と生存を保持しよう」と決意しました。 本講座は、その決意を受け継ぎ、平和を愛し、探求心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく基礎的資料と基本的な分析論理を提供しようとするものである。		
授業方法(学習指導法)	各講義目ごとに、担当講師が講義に必要なプリントを準備し、講義を行う。講師によってはDVD/ビデオなどを利用する。		
授業到達目標	戦争の実態についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して自由と平和を愛する文化国家の建設に努める態度を身につける。		
授業内容	講義内容は多岐にわたるので、以下のように各講師がテーマを掲げて講義する。 第1回(10月4日)戸田 清「長崎で平和学する」 第2回(10月11日)藤澤秀雄「自伝的昭和史①小学生から見た戦争」 第3回(10月18日)藤澤秀雄「自伝的昭和史②戦争とは、戦場とは、そこで何が行われたか」 第4回(10月25日)国武雅子「戦争とジェンダー①女性の戦争協力」 第5回(11月1日)国武雅子「戦争とジェンダー②日本軍「慰安婦」問題」 第6回(11月8日)山田拓民「私の被爆・被爆後体験」 第7回(11月15日)小峯秀孝「私の被爆・被爆後体験」 第8回(11月22日)高橋眞司「永井隆と秋月辰一郎」 第9回(11月29日)高橋眞司「核時代の死と生」 第10回(12月6日)森井 徹「西日本新聞記者「長崎原爆を報道する」」 第11回(12月13日)戸田 清「イラク戦争・アフガン戦争」 第12回(12月20日)舟越耿一「報復の連鎖を断つ言葉を求めて」 第13回(1月10日)舟越耿一「どこからどこへ、日本の平和主義」 第14回(1月17日)富塚 明「被爆地長崎から『ミサイル防衛』を考える」 第15回(1月24日)富塚 明「日米安保の現段階」		
キーワード	平和学、昭和史、原爆。女性史、日米安保条約、		
教科書・教材・参考書	特定の教科書は用いないが、プリント・資料を適宜配布し、またDVD・ビデオやスライドなどを利用して講義の理解を深める。		
	講義課題への積極的な取り組みを重視する立場から、講義への貢献度と担当講師が課したレポートで総合的に評価す		

成績評価の方法・基準等	る。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_総合科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20110569001601	科目番号	05690016
授業科目名	●酒の科学		
編集担当教員	上江田 一雄		
授業担当教員名(科目責任者)	上江田 一雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	上江田 一雄,高橋 正克,林田 雅希,姫野 順一,才津 祐美子,松田 雅子		
科目分類	総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[全]201		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	kazuo-u@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環307		
担当教員TEL	(095)819-2744		
担当教員オフィスアワー	特別に設けませんので、前もって電話でアポイントメントをとってから来室してください。		
授業のねらい	百葉の長ともいわれる酒ですが、酒の一気飲みで命を絶つ若者が後を絶ちません。この講義では、酒についての正確な知識を身につけ、酒を理解し、かつ、酒が心身に与える影響を学んで、成人になって酒をおいしく味わうようになることがねらいです。		
授業方法(学習指導法)	通常の講義型式で行います。		
授業到達目標	酒に関する正確な知識を身につけること、酒を理解すること、および酒の心身に与える影響を理解することです。		
授業内容	酒について多面的な視点から講義します。		
	回	内容	
	1	酒とは—概説—(上江田)	
	2	清酒(上江田)	
	3	焼酎・白酒(上江田)	
	4	ワイン(上江田)	
	5	ビール(上江田)	
6	ウイスキー(上江田)		

	7	世界の酒(上江田)
	8	酒と薔薇の英米文学(松田)
	9	薬としてのアルコール(高橋)
	10	アルコールの薬理学(高橋)
	11	急性アルコール中毒(林田)
	12	酒の民俗学(才津)
	13	焼酎造りとまちづくり(姫野)
	14	酒の生化学(上江田)
	15	酒を楽しく味わうには(上江田)
	16	
キーワード	酒, 清酒, 焼酎, ワイン, ビール, ウイスキー, 白酒, 文学, 薬理, 微生物, 健康, 民俗学, まちづくり	
教科書・教材・参考書	教科書は使用しません。随時, 視聴覚機器やプリントを使います。	
成績評価の方法・基準等	毎回のレポート(100%)で評価します。	
受講要件(履修条件)	ありません。	
本科目の位置づけ	ありません。	
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	ありません。	





シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_総合科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水1																												
開講期間																															
必修選択	選択	単位数	2.0																												
時間割コード	20110569000401	科目番号	05690004																												
授業科目名	●放射能の光と影																														
編集担当教員	富塚 明																														
授業担当教員名(科目責任者)	富塚 明																														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	富塚 明, 上谷 雅孝, 高辻 俊宏, 三根 眞理子, 戸田 清																														
科目分類	総合科学科目																														
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目																												
教室	[全]430																														
対象学生(クラス等)																															
担当教員Eメールアドレス																															
担当教員研究室	環境科学部3F 322																														
担当教員TEL	819-2767																														
担当教員オフィスアワー	火曜日 14:00~16:00																														
授業のねらい	自然現象として存在する「放射能」について、科学的知識を身につけると同時に、それが社会に及ぼしている「光と影」の現実をとらえる。																														
授業方法(学習指導法)	5人の教員がそれぞれの専門分野からみた「放射線・放射能」について解説する。																														
授業到達目標	放射線と放射能の基本的な性質を理解できる。 放射線と核エネルギーの利用方法を理解できる。 放射線・放射能が社会に及ぼしている影響を理解できる。																														
授業内容	<p>はじめに放射能と核エネルギーの発見と放射線被ばくの認識の発展、世界各地で起きている放射線被害を通して講義の全体像を解説する。そのうえで、放射線・放射能の基本的な性質とその利用の現状を解説する。あわせて核エネルギーの利用として核兵器と原子力発電の仕組みを解説する。また放射線の生命に与える影響をふまえたうえで、実際に起こされた原爆被害とチェルノブイリ原発事故の犠牲者の実情にせまる。さらに子々孫々までツケを求め高レベル放射性廃棄物の処理処分の現状、さらに核兵器の軛から脱却してウランを直接利用せず、プルトニウムや放射性廃棄物をほとんど生成しないといわれるトリウム発電炉の可能性についても解説する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10月5日 オリエンテーション(富塚)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10月12日 原子力開発と社会的格差(戸田)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10月19日 放射能の物理(富塚)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10月26日 自然放射能と人工放射能(富塚)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11月2日 放射線の医療への応用(上谷)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11月9日 RIとその利用1(高辻)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11月16日 RIとその利用2(高辻)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11月30日 RIとその利用3(富塚)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12月7日 核エネルギーの利用と核兵器開発(富塚)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12月14日 放射線の人体への影響(三根)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12月21日 原爆後障害(三根)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>1月11日 原子力発電のしくみ(富塚)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>1月18日 核燃料サイクルと放射性廃棄物(富塚)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	10月5日 オリエンテーション(富塚)	2	10月12日 原子力開発と社会的格差(戸田)	3	10月19日 放射能の物理(富塚)	4	10月26日 自然放射能と人工放射能(富塚)	5	11月2日 放射線の医療への応用(上谷)	6	11月9日 RIとその利用1(高辻)	7	11月16日 RIとその利用2(高辻)	8	11月30日 RIとその利用3(富塚)	9	12月7日 核エネルギーの利用と核兵器開発(富塚)	10	12月14日 放射線の人体への影響(三根)	11	12月21日 原爆後障害(三根)	12	1月11日 原子力発電のしくみ(富塚)	13	1月18日 核燃料サイクルと放射性廃棄物(富塚)
回	内容																														
1	10月5日 オリエンテーション(富塚)																														
2	10月12日 原子力開発と社会的格差(戸田)																														
3	10月19日 放射能の物理(富塚)																														
4	10月26日 自然放射能と人工放射能(富塚)																														
5	11月2日 放射線の医療への応用(上谷)																														
6	11月9日 RIとその利用1(高辻)																														
7	11月16日 RIとその利用2(高辻)																														
8	11月30日 RIとその利用3(富塚)																														
9	12月7日 核エネルギーの利用と核兵器開発(富塚)																														
10	12月14日 放射線の人体への影響(三根)																														
11	12月21日 原爆後障害(三根)																														
12	1月11日 原子力発電のしくみ(富塚)																														
13	1月18日 核燃料サイクルと放射性廃棄物(富塚)																														

	14	1月25日 チェルノブイリで起きたこと(三根)
	15	2月1日 人類と原子力(冨塚)
	16	
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。適宜、プリントの配付をする。 全体の参考書:安斎育郎『放射能 そこが知りたい』かもがわ出版	
成績評価の方法・基準等	毎回提出する「講義概要」(70%)、教員を指定して提出する「最終レポート」(30%)	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		

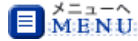


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_総合科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	後期	曜日・校時	水4												
開講期間															
必修選択	選択	単位数	2.0												
時間割コード	20110569001401	科目番号	05690014												
授業科目名	●暮らしと地球環境学														
編集担当教員	上江田 一雄														
授業担当教員名(科目責任者)	上江田 一雄														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	上江田 一雄, 後藤 健介, 後藤 恵之輔														
科目分類	総合科学科目														
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目												
教室	[全]201														
対象学生(クラス等)															
担当教員Eメールアドレス	kazuou@nagasaki-u.ac.jp														
担当教員研究室	環307														
担当教員TEL	(095)819-2744														
担当教員オフィスアワー	特別に設けませんので、前もって電話でアポイントメントをとってから来室してください。														
授業のねらい	この地球には人間のみならず生物、植物等が生息しており、互いに影響しあって生存しています。その地球が危機に瀕しています。温暖化、オゾン層の破壊、砂漠化等の地球環境問題によってです。しかし、地球はこのような地球規模のものだけでなく、ごみ問題等の地域の環境問題によっても次第に汚染されてきています。本授業では、これら環境問題を地球かつ地域規模で学び、暮らしの中でどう対処していけばよいのかを考えます。														
授業方法(学習指導法)	授業は、テキストを中心として、パワーポイント、OHP、スライド、ビデオの視聴覚機器を駆使し、配布資料を時には利用しながら、行っていきます。														
授業到達目標	地球温暖化などの地球規模の環境問題、ごみ、地下水汚染などの地域の環境問題について、それらが決して遠い存在でなく身近な問題であるとして学ぶとともに、それらに暮らしの中でどう対処していけばよいのか、さらに生物の生息する環境をどのように再生、創造すればよいのか、方法等を身につけられるようにします。														
授業内容	<p>最近の環境問題に関する話題を題材として、環境問題が地球規模であれ、地域規模であれ、我われの「身近な」問題であることを認識することから講義を始めます。</p> <p>地球環境問題として地球温暖化、酸性雨、砂漠化、熱帯雨林の減少、野生生物種の減少、オゾン層の破壊、海洋汚染を取り上げ、地域環境問題として自然災害、水質汚染、地盤・地下水汚染、ごみ問題を扱って、これらを地球環境問題と絡めながら論じます。さらに都市の人口爆発、アスベスト問題、感染症も、最近の環境問題として述べます。</p> <p>これら環境問題はややもすればマイナス思考になりがちだが、このことを考慮しながら、プラス思考のこととして生物生息環境の保全・再生・創造に係るビोटープ、近・多自然型川づくり、エコロード、ミティゲーションを講義します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション(最近の環境問題に関する話題から)(後藤恵之輔・上江田)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>地球温暖化(後藤恵之輔)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ヒートアイランドとエルニーニョ現象(後藤恵之輔)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>自然災害(後藤恵之輔)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>酸性雨(後藤健介)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	オリエンテーション(最近の環境問題に関する話題から)(後藤恵之輔・上江田)	2	地球温暖化(後藤恵之輔)	3	ヒートアイランドとエルニーニョ現象(後藤恵之輔)	4	自然災害(後藤恵之輔)	5	酸性雨(後藤健介)
回	内容														
1	オリエンテーション(最近の環境問題に関する話題から)(後藤恵之輔・上江田)														
2	地球温暖化(後藤恵之輔)														
3	ヒートアイランドとエルニーニョ現象(後藤恵之輔)														
4	自然災害(後藤恵之輔)														
5	酸性雨(後藤健介)														

	6	砂漠化、熱帯雨林の減少、日本の植生(後藤健介)
	7	野生生物種の減少、生物多様性(後藤健介)
	8	ビオトープ(その1)生物生息環境の保全・再生・創造(後藤恵之輔)
	9	ビオトープ(その2)近自然型川づくり、多自然型川づくり(後藤恵之輔)
	10	ビオトープ(その3)エコロード、ミティゲーション(後藤健介)
	11	オゾン層の破壊(後藤恵之輔)
	12	海洋汚染、水質汚染、地盤・地下水汚染(後藤健介)
	13	ごみ問題、都市の人口爆発(後藤健介)
	14	アスベスト問題、感染症(後藤健介)
	15	水の危機(上江田)
	16	
キーワード	地球環境問題、地域環境問題、生物生息環境の再生・創造、都市問題、アスベスト、感染症	
教科書・教材・参考書	教科書: 後藤恵之輔・後藤健介『暮らしと地球環境学』(電気書院、2,600円) 教材: 配布資料	
成績評価の方法・基準等	毎回提出のレポートによって成績評価を行います。 レポートには、講義の概要とコメントを書くが、時には指示により、講義概要の代わりに宿題が出されることがあります。	
受講要件(履修条件)	なし	
本科目の位置づけ	関連する全学教育の科目として、「火山と災害」(1年前期)があるので、受講しておくとうよろしいでしょう。	
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	「21世紀は環境の世紀」と言われるほど、世界や日本の環境問題が毎日のニュースに取り上げられることが多いので、日ごろの新聞・テレビのニュースに気をつけてください。	





シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_総合科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。

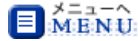


学期	後期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20110569002001	科目番号	05690020
授業科目名	●情報社会と情報システム		
編集担当教員	丹羽 量久		
授業担当教員名(科目責任者)	丹羽 量久		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	丹羽 量久, 藤井 美知子, 山地 弘起		
科目分類	総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[全]125		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	niwa@redc.nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	大学教育機能開発センター3階		
担当教員TEL	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー	毎週水曜日13:10~14:10		
授業のねらい	今日の情報社会における情報システムの役割とその仕組みを理解し、また、情報の可視化技術がどのように産業の発展に貢献しているか理解する。さらに、情報社会で活躍するための各種資格について知識を修得することを目的としている。		
授業方法(学習指導法)	三人の教員がオムニバス形式で講義を行う。必要に応じて、コンピュータ端末の操作を交えながら、講義を行う。		
授業到達目標	① 情報社会における情報システムの役割について理解する。 ② 情報の可視化について理解する。 ③ 情報社会における各種資格について理解する。		
授業内容	回	内容	
	1	ガイダンス	
	2	情報社会と情報システム(概論)	
	3	情報システムについて考える(1)	
	4	情報システムについて考える(2)	
	5	情報システムについて考える(3)	
	6	情報システムについて考える(4)	
	7	情報社会と可視化	
	8	可視化手法(Excelグラフ)(1)	
	9	可視化手法(Excelグラフ)(2)	
	10	可視化手法(Excelグラフ)(3)	
	11	情報社会のパスポート(1)	
	12	情報社会のパスポート(2)	
	13	情報社会のパスポート(3)	
	14	情報社会のパスポート(4)	
	15	情報社会と情報システム(総括)	
16			

キーワード	情報社会、情報システム、情報の可視化、ITパスポート
教科書・教材・参考書	必要に応じて、授業のホームページを使って配布する。
成績評価の方法・基準等	授業中のレポート:100%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_総合科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木3																														
開講期間																																	
必修選択	選択	単位数	2.0																														
時間割コード	20110569002201	科目番号	05690022																														
授業科目名	●大学生のための育児学																																
編集担当教員	大石 和代																																
授業担当教員名(科目責任者)	大石 和代																																
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大石 和代,大井 久美子,中尾 優子,鶴崎 俊哉,荒木 美幸,森藤 香奈子,山地 弘起,柳田 泰典,宮地 歌織																																
科目分類	総合科学科目																																
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目																														
教室	[全]102																																
対象学生(クラス等)	選択科目:「全学部」																																
担当教員Eメールアドレス	k-oishi@nagasaki-u.ac.jp																																
担当教員研究室	医学部保健学科5階大石研究室																																
担当教員TEL	819-7980																																
担当教員オフィスアワー	質問等ある場合は大石教員アドレス(上記参照)までEメールで連絡すること。																																
授業のねらい	現代社会における育児支援の必要性を理解し、育児に関する知識・技術について学ぶ。																																
授業方法(学習指導法)	オムニバスによる講義を行う。																																
授業到達目標	育児及び育児支援の必要性について説明できるようにする。 育児技術を活用できるようにする。 おもいキャンパスサポートへの関心がもてるようにする。																																
授業内容	<p>講義の前半(第1~7回)では男女共同参画社会、ワーク・ライフ・バランス、少子化社会等、育児を取り巻く現状及び具体的な施策等について紹介する。 講義の後半(第8~15)回では、胎児・乳幼児の持つ能力及び心身の発育・発達について紹介し、具体的な育児技術について学ぶ機会を持つ。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/6:男女共同参画社会とワーク・ライフ・バランス</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/13:日本と世界の子育て</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/20:子育てと夫婦関係</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/27:子どもたちのライフハザード</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/10:親子のコミュニケーション形成</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/17:育児に困窮する母親たちの存在</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/24:育児支援施策(おもいキャンパスサポートを含む)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/1:胎児の能力</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12/8:新生児の能力</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/15:乳幼児の心の発育・発達</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12/22:乳幼児のからだの発育・発達</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>1/12:絵本の読み聞かせ</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>1/19:乳児のための育児技術(抱っこ、オムツ交換、授乳、ベビーマッサージ等)</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>1/26:幼児のための育児技術(着替え、手洗い、歯磨き、食事・排泄の世話等)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	10/6:男女共同参画社会とワーク・ライフ・バランス	2	10/13:日本と世界の子育て	3	10/20:子育てと夫婦関係	4	10/27:子どもたちのライフハザード	5	11/10:親子のコミュニケーション形成	6	11/17:育児に困窮する母親たちの存在	7	11/24:育児支援施策(おもいキャンパスサポートを含む)	8	12/1:胎児の能力	9	12/8:新生児の能力	10	12/15:乳幼児の心の発育・発達	11	12/22:乳幼児のからだの発育・発達	12	1/12:絵本の読み聞かせ	13	1/19:乳児のための育児技術(抱っこ、オムツ交換、授乳、ベビーマッサージ等)	14	1/26:幼児のための育児技術(着替え、手洗い、歯磨き、食事・排泄の世話等)
回	内容																																
1	10/6:男女共同参画社会とワーク・ライフ・バランス																																
2	10/13:日本と世界の子育て																																
3	10/20:子育てと夫婦関係																																
4	10/27:子どもたちのライフハザード																																
5	11/10:親子のコミュニケーション形成																																
6	11/17:育児に困窮する母親たちの存在																																
7	11/24:育児支援施策(おもいキャンパスサポートを含む)																																
8	12/1:胎児の能力																																
9	12/8:新生児の能力																																
10	12/15:乳幼児の心の発育・発達																																
11	12/22:乳幼児のからだの発育・発達																																
12	1/12:絵本の読み聞かせ																																
13	1/19:乳児のための育児技術(抱っこ、オムツ交換、授乳、ベビーマッサージ等)																																
14	1/26:幼児のための育児技術(着替え、手洗い、歯磨き、食事・排泄の世話等)																																

	15	2/2:乳幼児のための育児技術(応急手当等)
	16	
キーワード	男女共同参画社会、おもいキャンパスサポート、育児支援、育児技術	
教科書・教材・参考書	配布資料	
成績評価の方法・基準等	学習への取り組み状況30% 定期試験70%	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_総合科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20110590090503	科目番号	05900905
授業科目名	●平和講座		
編集担当教員	安部 俊二		
授業担当教員名(科目責任者)	安部 俊二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	安部 俊二, 戸田 清, 三根 真理子, 西岡 由香, 安井 幸子, 森永 玲, 山下 達也, 奥野 正太郎, 深堀 好敏, 葉柳 和則		
科目分類	総合科学科目、A科目 総合科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[全]227		
対象学生(クラス等)	全学部		
担当教員Eメールアドレス	abe-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部本館6階617研究室		
担当教員TEL	(095)819-2309		
担当教員オフィスアワー	水曜6校時		
授業のねらい	この文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子勤労令などによって動員された若き男女が航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、その多くが爆死しました。敗戦後、日本は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚し、国家再建の基礎を人類普遍の原理に求めて戦争を放棄し、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して安全と生存を保持しよう」と決意しました。本講座は、その決意を受け継ぎ、平和を愛し探求心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく基礎的資料と基本的な分析論理を提供しようとするものである。		
授業方法(学習指導法)	各講義ごとに、担当講師が講義に利用するプリントを用意し、講義を行う。講師によってはビデオ・DVD・スライドなども利用する。		
授業到達目標	戦争の実態についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して自由と平和を愛する文化国家の建設に努める態度を身につける。		
授業内容	講義内容は多岐にわたるので、以下のように各講師がそれぞれテーマを掲げて講義する。 第1回(10月6日)戸田 清「長崎で平和学する」 第2回(10月13日)安部俊二「近代日本の軍隊教育」 第3回(10月20日)安部俊二「軍人・水野広徳の反戦思想」 第4回(10月27日)山下達也「日本の朝鮮支配と教育」 第5回(11月10日)山下達也「朝鮮人被爆者問題を考える」 第6回(11月17日)西岡由香「世界から見たナガサキ:90分世界一周」 第7回(11月24日)西岡由香「原爆とキリスト教」 第8回(12月1日)安井幸子「私の被爆・被爆後体験」 第9回(12月8日)深堀好敏「私の被爆・被爆後体験」 第10回(12月15日)奥野正太郎「長崎原爆の歴史的特質①」 第11回(12月22日)奥野正太郎「長崎原爆の歴史的特質②」 第12回(1月12日)森永 玲「長崎新聞報道部長「長崎原爆を報道する」 第13回(1月19日)三根真理子「①長崎原爆と医科大学 ②原爆直後の調査」 第14回(1月26日)三根真理子「③被爆者の健康管理」 第15回(2月2日)葉柳和則「被災の記憶とその継承」		
キーワード	原爆、キリスト教、被爆体験、記憶、植民地支配、朝鮮		
教科書・教材・参考書	特定の教科書は使用しないが、プリント資料を適宜配布し、またビデオ・スライド・DVDなどを利用して講義の理解を深める。 講義への積極的な取り組みを重視する立場から、講義への貢献度と担当講師が課したレポートで総合的に評価する。		

成績評価の方法・基準等	
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_総合科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20110590090802	科目番号	05900908
授業科目名	●口の健康・体の健康		
編集担当教員	吉田 教明		
授業担当教員名(科目責任者)	吉田 教明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	吉田 教明, 林 善彦, 澤瀬 隆, 山邊 芳久, 筑波 隆幸, 鮎瀬 卓郎, 岡田 幸雄, 細矢 由美子, 飯島 洋一, 佛坂 斉祉, 日高 聖, 大場 誠悟, 西村 正宏, 尾崎 幸生		
科目分類	総合科学科目、A科目 総合科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[全]102		
対象学生(クラス等)	全学部		
担当教員Eメールアドレス	nori@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	歯学部 歯科矯正学講座		
担当教員TEL	095-819-7667(7669)		
担当教員オフィスアワー	9:00-19:00		
授業のねらい	一般の人には歯科＝虫歯という捉え方がなされているが、歯科口腔領域には、様々な疾患があり、その多くが全身の健康維持に影響を及ぼす。授業を通して、一般に知られていない歯科口腔領域の問題について知識を深め、口の健康が体の健康に及ぼす影響を理解する。		
授業方法(学習指導法)	必要に応じ、授業に沿ったプリント資料を配布する。参考書は適宜紹介する。		
授業到達目標	口腔は、呼吸、摂食、咀嚼、発音、感覚、美的表現など多様な機能を有している。これらの機能の喪失による全身への影響について知識を深め、機能の維持や再建または改善する方法を広く理解すること。		
授業内容	回	内容	
	1	味覚の発達と健康 10/6 生理 岡田幸雄	
	2	矯正歯科治療と形態的变化 10/13 矯正 佛坂斉祉	
	3	歯の脱灰と再石灰化 10/20 予防 飯島洋一	
	4	インプラントによる歯の再建 10/27 1補綴 澤瀬 隆	
	5	健常者の口腔管理と健康 11/10 1保存 林 善彦	
	6	歯の色彩・白い歯 11/17 小児 細矢由美子	
	7	最新の審美歯科治療 11/24 矯正 吉田教明	
	8	口腔領域における痛みのコントロール 12/1 麻酔 鮎瀬卓郎	
	9	顎関節障害・咀嚼障害 12/8 歯学臨床教育 山邊芳久	
	10	歯周病と生活習慣病 12/15 2保存 尾崎幸生	
	11	小児の成長発育と歯科治療 12/22 小児 日高 聖	
	12	障害者/有病者の口腔ケアと問題点 1/12 小児 細矢由美子	
	13	口腔内疾患と薬物治療 1/19 薬理 筑波隆幸	
	14	口腔癌:口の中にできる悪性腫瘍 1/26 2口外 大場誠悟	
	15	再生医療 2/2 2補綴 西村正宏	
16			

キーワード	歯、顎関節、インプラント、審美歯科治療、咀嚼、摂食、嚥下
教科書・教材・参考書	教科書はなく、教材は担当教員の判断で配布を行う。また、授業にて適宜、参考書などを紹介する。
成績評価の方法・基準等	レポート100点。レポートは毎回提出する。レポートの評価の基準は、与えられたテーマについて、適切なキーワードを用い説明できているかを判断基準とする。
受講要件(履修条件)	なし
本科目の位置づけ	歯科医療領域は進化を遂げ、全身への影響を見据えたものに発展している分野である。
学習・教育目標	口腔領域の疾患を理解し、全身の健康に及ぼす影響を学習する。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	各授業の内容やプリントなどを復習する。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System

メニューへ
MENUログアウト
LOGOUT

シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_総合科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	後期	曜日・校時	木5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20110569001701	科目番号	05690017
授業科目名	●教養とは		
編集担当教員	上江田 一雄		
授業担当教員名(科目責任者)	上江田 一雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	上江田 一雄,高橋 正克,岡田 佳子,中西 こずえ,菅原 潤,松田 雅子		
科目分類	総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[全]104		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	kazuou@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環307		
担当教員TEL	(095)819-2744		
担当教員オフィスマワー	特別に設けませんので、前もって電話でアポイントメントをとってから来室してください。		
授業のねらい	教養とはいったい何でしょうか。教養のある人とはどんな人でしょうか。全学教育(教養教育)をなぜ学ぶのでしょうか。この科目を履修して、共に考えましょう。		
授業方法(学習指導法)	専門の異なる6名の教員が「教養とは」という内容の話題提供を行い、それを受けて学生主体の班別討議および全体討議を通して、「教養」についての考えを深めます。		
授業到達目標	(1)自分自身の頭脳で考える能力を修得すること、(2)「教養」とは何かを理解することであり、さらに、(3)教養を身につける手がかりを会得することです。		
授業内容	講義と討議を通じて「教養」について考えます。 なお、受講者数によっては授業計画を変更することがあります。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション(上江田・化学)	
	2	教養とは (上江田)	
	3	班別討議 (上江田)	
	4	教養とは (中西・生物学)	
	5	班別討議 (上江田)	

	6	教養とは (松田・英米文学)
	7	班別討議 (上江田)
	8	全体討議 (上江田)
	9	教養とは (菅原・哲学)
	10	班別討議 (上江田)
	11	教養とは (岡田・高等教育学)
	12	班別討議 (上江田)
	13	教養とは (高橋・薬学)
	14	班別討議 (上江田)
	15	全体討議 (上江田)
	16	
キーワード	教養, 討議, 学生主体	
教科書・教材・参考書	教科書は使用しません。随時、視聴覚機器やプリントを使います。	
成績評価の方法・基準等	毎回のレポート(100%)で評価します。	
受講要件(履修条件)	1年生が好ましい。第1回目の講義で受講者を決定しますので、受講希望者は必ず出席してください。	
本科目の位置づけ	ありません。	
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	班別討議および全体討議の規模を考慮すると、受講者数は十数名が好ましい。	





シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_総合科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金3																																
開講期間																																			
必修選択	選択	単位数	2.0																																
時間割コード	20110569000702	科目番号	05690007																																
授業科目名	●解放講座																																		
編集担当教員	上 菌 恒太郎																																		
授業担当教員名(科目責任者)	上 菌 恒太郎																																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	上 菌 恒太郎, 阿南 重幸, 藤澤 秀雄																																		
科目分類	総合科学科目、A科目 総合科目																																		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目																																
教室	[全]227																																		
対象学生(クラス等)	全学部																																		
担当教員Eメールアドレス	阿南重幸教員anan@sings.jp																																		
担当教員研究室	教育学部棟2階上菌教員研究室																																		
担当教員TEL	上菌教員095-819-2386																																		
担当教員オフィスマワー	授業の前後																																		
授業のねらい	21世紀は「人権の世紀」ともいわれる。本講座は、部落問題を中心に今日社会におけるさまざまな諸問題を、人権の視点で考察することを目的とする。																																		
授業方法(学習指導法)	講義形式																																		
授業到達目標	講座開設の意義を踏まえ、世界の人権状況、国内においては、部落問題・アイヌ問題・ハンセン病回復者への差別・在日外国人の諸状況を歴史的に考察し、理解を深める。																																		
授業内容	<p>人権に関する世界及び日本の歩みを振り返り、今なお存在する日本の人権課題について、学ぶことを目的とする。人権の観点から見た部落問題、アイヌ問題、在日外国人問題、ハンセン病に係わる問題や冤罪事件等を取り上げ、とくに部落問題ではあやまった歴史観を質したい。また、地域史として、「長崎の被差別部落」を取り上げる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10月 7日 「解放講座」開設の意義について(藤澤秀雄)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10月14日 世界及び国内における人権の歩み(藤澤秀雄)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10月21日 部落問題と人権のいま(阿南重幸)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10月28日 日本の部落問題(阿南重幸)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11月 4日 日本の近代化とアイヌ問題(阿南重幸)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11月11日 在日外国人の「国籍条項」(阿南重幸)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11月18日 ハンセン病と差別(阿南重幸)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11月25日 部落の歴史を再考する(1)(阿南重幸)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12月 2日 部落の歴史を再考する(2)(阿南重幸)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12月 9日 部落の歴史を再考する(3)(阿南重幸)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12月16日 長崎の被差別部落(阿南重幸)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>1月 6日 変化する「部落」観(阿南重幸)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>1月20日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として(藤澤秀雄)</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>1月27日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として(藤澤秀雄)</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>2月 3日 授業の総括(学生諸君に書いてもらう)(藤澤秀雄)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	10月 7日 「解放講座」開設の意義について(藤澤秀雄)	2	10月14日 世界及び国内における人権の歩み(藤澤秀雄)	3	10月21日 部落問題と人権のいま(阿南重幸)	4	10月28日 日本の部落問題(阿南重幸)	5	11月 4日 日本の近代化とアイヌ問題(阿南重幸)	6	11月11日 在日外国人の「国籍条項」(阿南重幸)	7	11月18日 ハンセン病と差別(阿南重幸)	8	11月25日 部落の歴史を再考する(1)(阿南重幸)	9	12月 2日 部落の歴史を再考する(2)(阿南重幸)	10	12月 9日 部落の歴史を再考する(3)(阿南重幸)	11	12月16日 長崎の被差別部落(阿南重幸)	12	1月 6日 変化する「部落」観(阿南重幸)	13	1月20日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として(藤澤秀雄)	14	1月27日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として(藤澤秀雄)	15	2月 3日 授業の総括(学生諸君に書いてもらう)(藤澤秀雄)
回	内容																																		
1	10月 7日 「解放講座」開設の意義について(藤澤秀雄)																																		
2	10月14日 世界及び国内における人権の歩み(藤澤秀雄)																																		
3	10月21日 部落問題と人権のいま(阿南重幸)																																		
4	10月28日 日本の部落問題(阿南重幸)																																		
5	11月 4日 日本の近代化とアイヌ問題(阿南重幸)																																		
6	11月11日 在日外国人の「国籍条項」(阿南重幸)																																		
7	11月18日 ハンセン病と差別(阿南重幸)																																		
8	11月25日 部落の歴史を再考する(1)(阿南重幸)																																		
9	12月 2日 部落の歴史を再考する(2)(阿南重幸)																																		
10	12月 9日 部落の歴史を再考する(3)(阿南重幸)																																		
11	12月16日 長崎の被差別部落(阿南重幸)																																		
12	1月 6日 変化する「部落」観(阿南重幸)																																		
13	1月20日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として(藤澤秀雄)																																		
14	1月27日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として(藤澤秀雄)																																		
15	2月 3日 授業の総括(学生諸君に書いてもらう)(藤澤秀雄)																																		

	16
キーワード	人権 体験 知識
教科書・教材・参考書	テキストは用いない。プリント、資料等を配布する。 ビデオ等を使用する。
成績評価の方法・基準等	レポートの成績、出席状況を考慮して行う。 レポート 50 出席 50
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_総合科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



戻る

学期	後期	曜日・校時	金5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20110569001501	科目番号	05690015
授業科目名	●時間の科学		
編集担当教員	上江田 一雄		
授業担当教員名(科目責任者)	上江田 一雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	上江田 一雄, 中西 こずえ, 菅原 潤, 田井村 明博, 姫野 順一, 馬越 孝道, 河本 和明, 冨塚 明, 岡田 二郎, 高橋 正克		
科目分類	総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室	[全]102		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	kazuou@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環307		
担当教員TEL	(095)819-2744		
担当教員オフィスアワー	特別に設けませんので、前もって電話でアポイントメントをとってから来室してください。		
授業のねらい	さまざまな分野から時間について思考することによって、時間を総合的に捉えることです。		
授業方法(学習指導法)	それぞれの専門の立場から時間に関係する事柄について講義します。		
授業到達目標	古から哲学や自然科学において議論の対象となってきた時間について考えることにより、総合的に思考する能力を養います。		
授業内容	時間およびそれに関連する事柄について、それぞれの専門分野からの認識を深めます。		
	回	内容	
	1	概説(上江田)	
	2	歴史的時間について(菅原)	
	3	暦の歴史(冨塚)	
	4	暦と迷信(冨塚)	
	5	化学進化(上江田)	
	6	化学進化(上江田)	
	7	地球の古環境と大気現象の時間(河本)	

	8	時間生物学:動物のリズム(岡田)
	9	時間の経済学(姫野)
	10	時間の経済学(姫野)
	11	スポーツと時間(田井村)
	12	スポーツと時間(田井村)
	13	植物と時間(中西)
	14	地球の年齢を探る試み(馬越)
	15	薬と時間(高橋)
	16	
キーワード	時間, 暦, 年齢, 古環境, 寿命, 進化, 動物, 植物, 薬	
教科書・教材・参考書	教科書:ありません。 教材:随時, プリントやパワーポイントを使用します。	
成績評価の方法・基準等	毎回のレポート(100%)で評価します。	
受講要件(履修条件)	ありません。	
本科目の位置づけ	ありません。	
学習・教育目標	総合的な思考力を養うことです。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	ありません。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_総合科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	集中(前)	曜日・校時	時間割外
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20110569001001	科目番号	05690010
授業科目名	●共同授業		
編集担当教員	上江田 一雄		
授業担当教員名(科目責任者)	上江田 一雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	上江田 一雄		
科目分類	総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室			
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	kazuou@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環307		
担当教員TEL	(095)819-2744		
担当教員オフィスマナー	特別に設けませんので、前もって電話でアポイントメントをとってから来室してください。		
授業のねらい	今年度で35回を数える伝統ある授業(正式名称は第35回九州地区国立大学間合宿共同授業)です。5大学の九州地区国立大学法人の学生と教員が一堂に集まり、寝食を共にしながら研修することによって、学生と教員ならびに大学間の交流を深め、かつ、同一テーマについて多面的な授業を展開することが目的です。		
授業方法(学習指導法)	5大学の教員による講義、討議、課外授業および学生フォーラムで構成します。		
授業到達目標	高校まで教わることによって学んできた学生が、知識基盤社会の担い手として学ぶ主体を自らに見出すことです。		
授業内容	<p>(概要)</p> <p>合宿期間は、9月8日(木)～9月11日(日)の3泊4日です。</p> <p>合宿場所は、九州地区国立大学九重共同研修所(大分県玖珠郡九重町湯坪にあつて標高約1,000 mの涼しいところ)です。</p> <p>今年度のテーマは「教養とは」です。</p> <p>本学の学生の募集人員は16名です。</p> <p>他大学からは、福岡教育大学(10名)、九州大学(18名)、佐賀大学(16名)および琉球大学(16名)の学生が参加します。</p> <p>日程や募集等の詳細については、後日、全学教育事務室の掲示物で確認してください。</p>		
キーワード	教養、合宿、学生主体、国立大学間、学生フォーラム、事前学習会		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しません。参考書については、後日お知らせします。		
成績評価の方法・基準等	事前学習会および合宿共同授業での学習態度(50%)、レポート(50%)で評価します。		
受講要件(履修条件)	履修希望者が多い場合は選考の上決定します。 参加費は、交通費・宿泊費・食費込みで12,000円(予定)です。		
本科目の位置づけ	ありません。		
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)	3泊4日の合宿共同授業以外に、5月から7月上旬にかけて週1回の事前学習会を行います。		



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_総合科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	集中(後)	曜日・校時	時間割外
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20110569001101	科目番号	05690011
授業科目名	●全学乗船実習		
編集担当教員	合田 政次		
授業担当教員名(科目責任者)	合田 政次		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	合田 政次		
科目分類	総合科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	講義科目
教室			
対象学生(クラス等)	1, 2, 3年次		
担当教員Eメールアドレス	goda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	水産学部本館3階		
担当教員TEL	095-819-2805		
担当教員オフィスアワー	IV・V校時		
授業のねらい	教養特別講義「海洋と文化」で学んだ内容を、より身近な問題として実践的な視点で捉えるため、附属練習船長崎丸に乘船して航海を体験する。これらの体験により、海洋環境や海洋生態系、あるいはそれらと人間の営みを肌で感じ、より深く理解すると共に、異分野の学生が船内生活を通して、通常のキャンパスライフでは困難なコミュニケーション能力、多角的視点、協調性などを修養する。		
授業方法(学習指導法)	乗船実習中に操船、海洋観測、トロール操業(魚の分類、魚体測定)、魚類の加工、ロープの結び方等の演習を行う。また、一時上陸して、水族館、魚市場等の見学を行う。		
授業到達目標	海洋及び船舶に慣れ、親しみ、航海・運用術、海洋観測の基礎的実習及び海・船・人間の関係について関わりを習得。また、船内での団体生活の体験により、協調性・寛容性を習得する。		
授業内容	<p>海には色々な用途を持った船が動いているが、その内の練習船長崎丸は水産学部学生の実習・調査・研究のため運航されている。その船を使って船舶運航、漁労、海洋観測を行い、海洋・船への関心を深める。また、漁獲された魚がどのように人間の生活に関係を持っているのか実習・見学にて行う。異分野の学生同士が船内居住・生活を通してコミュニケーションを深めていく。</p> <p>事前講義 I 実習の目的・概要・船内注意事項・見学施設等 について 事前講義 II 船・海洋観測・トロール操業等に関する基礎知識 実習1日目 乗船</p> <p>船内ガイダンス(船内設備、注意事項等の説明) 海洋観測、トロール操業、非常配置表等の説明</p> <p>2日目 天候・海況により、①～③のいずれかを実施 ①海洋観測、トロール操業、漁獲物調査、ロープ結索練習 ②海洋観測、救命艇操練、ロープ結索練習 ③海洋観測、船位決定練習、ロープ結索練習</p> <p>3日目 入港、陸上水産施設(水族館等)の見学 4日目 陸上水産施設(魚市場等)の見学、出港 魚類の加工(干し物等の作成) 5日目 下船時のガイダンス(予定、注意事項等) 下船</p> <p>事後講義 実習の総括、レポート課題等の説明等 補足事項 天候・海況によっては、実習の内容を大きく変更することがある。 事前・事後講義および実習の日程は、別途通知する。</p>		
キーワード	練習船、海洋実習、海洋観測		
教科書・教材・参考書	事前ガイダンス、船内ガイダンスの際に資料を配付する。		

成績評価の方法・基準等	実習への取り組み状況 70% レポート 30%
受講要件(履修条件)	受講定員は40名(希望多数の場合は、抽選により決定する)。 受講者は必ず傷害保険に加入すること。 受講にかかる費用は食費(4日分)および陸上施設利用料等 計8000円程度
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	乗船数日前、準備学習等は説明する。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.